

低所得高齢者等住まい・生活支援 モデル事業



大分県豊後大野市

写真:牛の散歩を犬がする牧歌的風景

豊後大野市の概要

大分県
豊後大野市

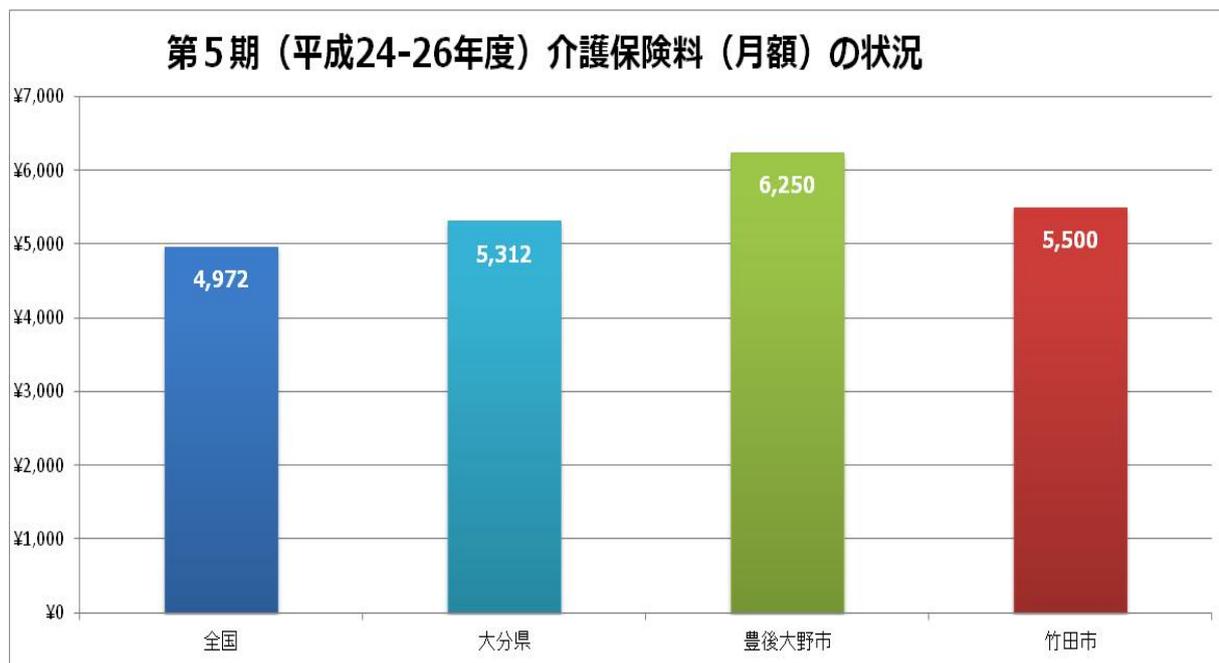


平成26年5月末

人口	38,948人
世帯数	16,530世帯
高齢者数	15,128人
高齢化率	38.8%
高齢者のみ世帯	6,524世帯
一人暮らし世帯	3,686世帯

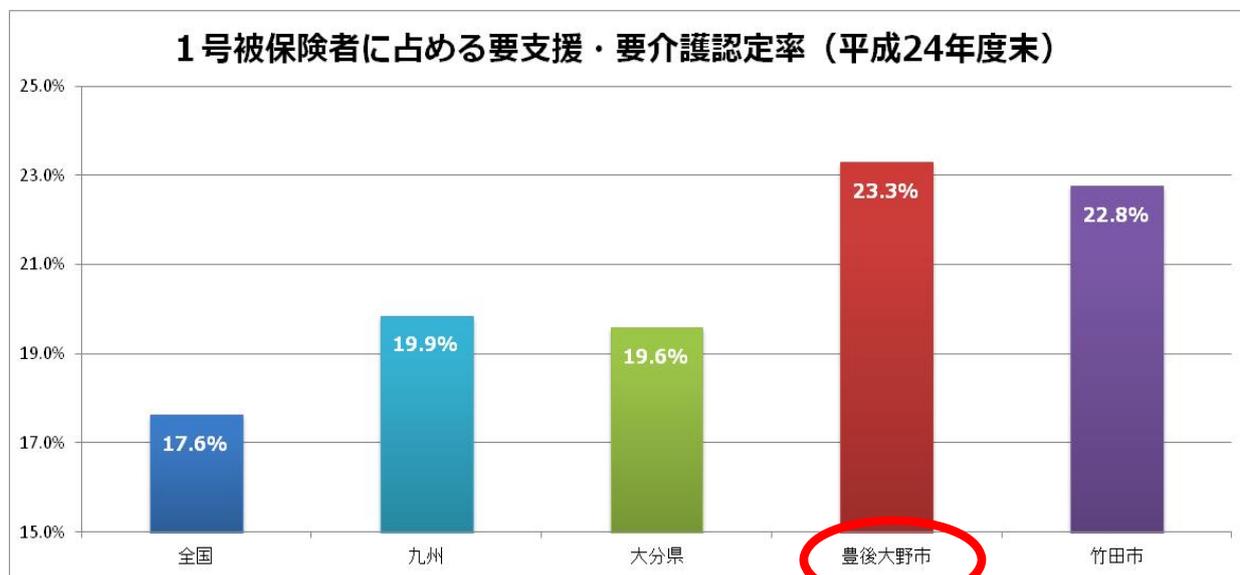
豊後大野市

- 豊後大野市の介護保険料は**高い**。
- 大分県内で**一番高い**。**6年連続NO.1**。
- 全国で**9番目**に高い。



3

- 豊後大野市の65歳以上の方は、要支援・要介護認定を受けている方が**多い**。他の地域と比べて豊後大野市の高齢者は**弱っている**。
- 65歳以上の**4.3**人に**1**人が要支援・要介護。



【平成24年度全国】「勤事業状況報告」厚生労働省：一部改変

豊後大野市の被保険者の状況

(介護保険事業状況報告 月報)

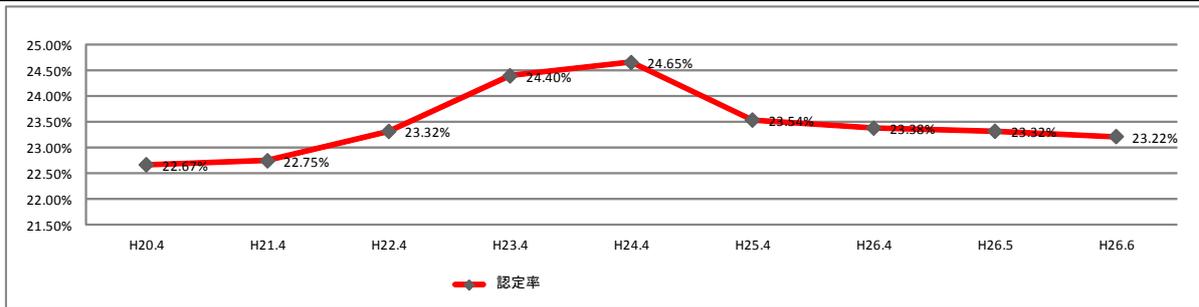
第5期介護保険事業計画

第5期介護保険事業計画

	H20.4	H21.4	H22.4	H23.4	H24.4	H25.4	H26.4	H26.5	H26.6
第1号被保険者数	14,838	14,818	14,778	14,588	14,618	14,831	15,016	15,029	15,039
65歳以上75歳未満	6,236	6,020	5,821	5,500	5,435	5,517	5,794	5,827	5,857
75歳以上	8,602	8,798	8,957	9,088	9,183	9,314	9,222	9,202	9,182
うち認定者	3,364	3,371	3,446	3,559	3,604	3,491	3,511	3,505	3,492
認定率	22.67%	22.75%	23.32%	24.40%	24.65%	23.54%	23.38%	23.32%	23.22%
第2号被保険者数		50	48	53	53	48	36	35	38

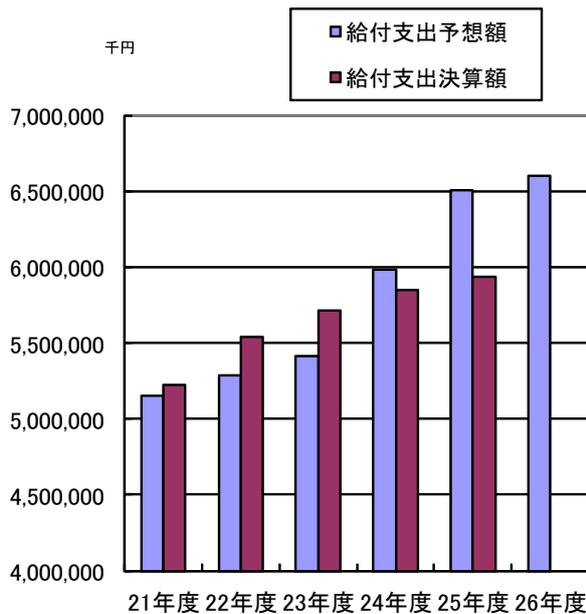
豊後大野市の認定者数の状況

	H20.4	H21.4	H22.4	H23.4	H24.4	H25.4	H26.4	H26.5	H26.6
要支援1	572	503	479	523	514	521	479	471	463
要支援2	703	733	613	535	567	525	505	506	511
要介護1	327	327	441	503	555	588	629	639	643
要介護2	507	541	548	610	572	556	559	557	559
要介護3	496	494	520	522	541	458	465	458	450
要介護4	419	465	498	477	484	513	528	531	531
要介護5	340	358	395	442	424	378	382	378	373
合計	3,364	3,421	3,494	3,612	3,657	3,539	3,547	3,540	3,530



H26.6.1現在

(1) 年度別の給付費予想額と決算額の推移

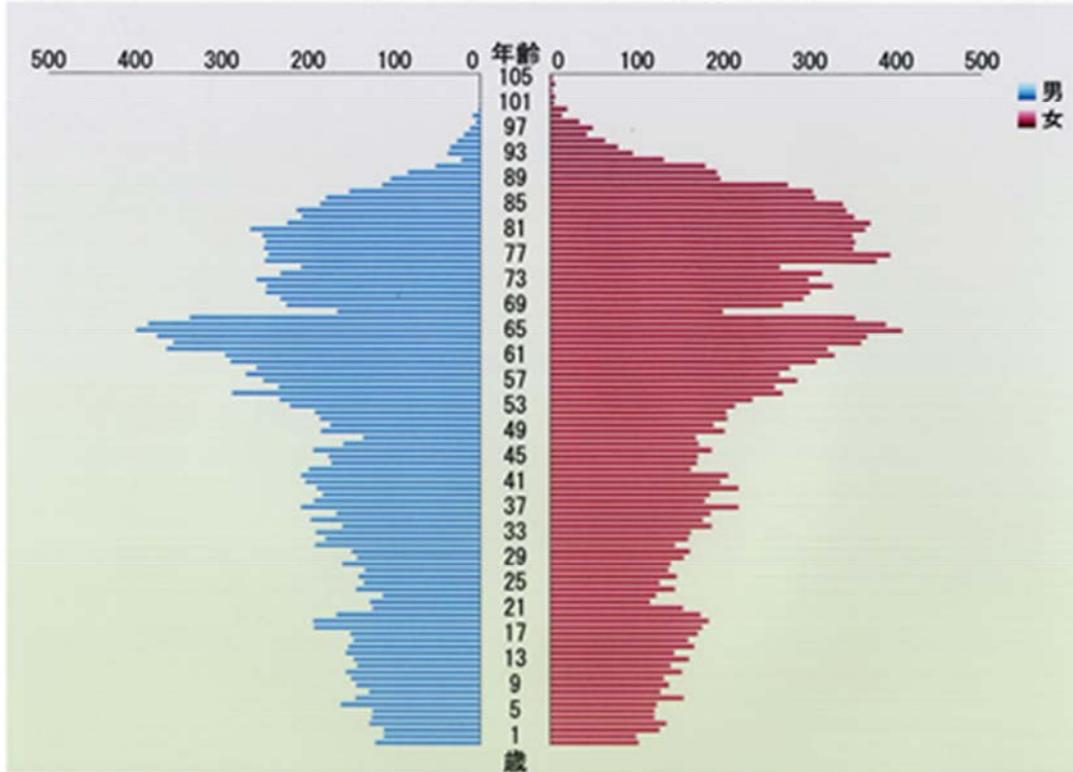


(単位:千円)

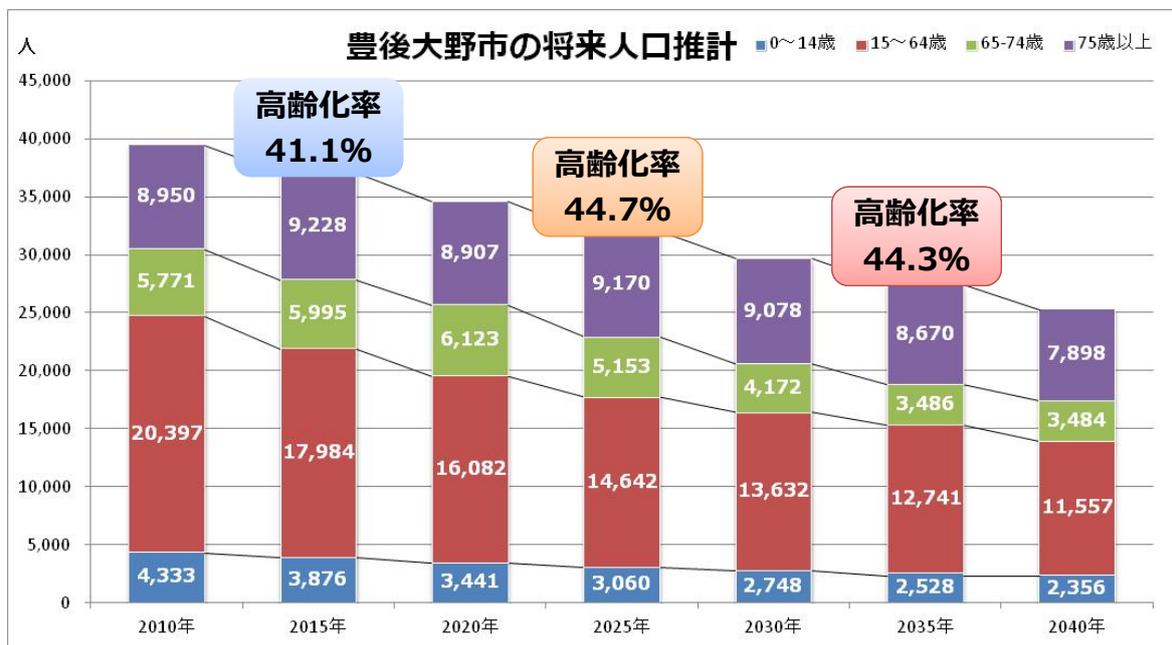
期別	年度	給付支出予想額	給付支出決算額	予定伸び率	実績伸び率	標準保険料(月額)
第4期	21年度	5,155,241	5,227,709			5,095円
	22年度	5,286,034	5,539,162	2.54%	5.96%	5,095円
	23年度	5,412,273	5,717,966	2.39%	3.23%	5,095円
第5期	24年度	5,981,582	5,849,650	4.61%	2.30%	6,250円
	25年度	6,506,547	5,934,928	8.78%	1.46%	6,250円
	26年度	6,597,931	-	1.40%	-	6,250円
第6期	27年度	-	-	-	-	-
	28年度	-	-	-	-	-
	29年度	-	-	-	-	-

第5期介護保険事業

平成26年 5月31日現在 豊後大野市の男女別人口構成図



- 豊後大野市は人口減少+生産年齢人口減少。
- 豊後大野市の75歳以上の高齢者を支える仕組みが必要。



BUNGO NO CABLE TELEVISION

介護予防番組【元気でいきいき】

加入率
82.1%

月	内 容	出 演 者
7月	生活不活発病	作業療法士
8月	げんき学校紹介	保健師
9月	認知症予防	保健師
10月	ロコモティブ症候群	外科医師
11月	薬の正しい飲み方	薬剤師
12月	脳梗塞の予防	内科医師
1月	低栄養・減塩	管理栄養士
2月	尿失禁予防・体操	看護師
3月	口腔ケア	歯科衛生士

9

介護予防・日常生活支援総合事業

げんき学校 の紹介

- げんき学校とは、ホテル・道の駅を会場とし楽しみながら参加できる介護予防教室です。
- 体に合った運動方法や栄養改善、口腔機能向上などの予防プログラムを、それぞれの専門家が行うことで、より高い効果が期待できます。

ホテル 豊洋



道の駅 原尻の滝



■対象者 65歳以上の方で、次の方が対象となります。

- (1)要支援1・2の認定を受けた方でデイサービス・デイケアを利用していない方
- (2) 二次予防事業対象者で、運動機能の低下のおそれがあると判断された方

■内容 運動機能向上プログラムを中心に行い、自宅において自立した日常生活を営むことができるよう支援

- (1) 移動能力の低下予防のために、ストレッチ、筋力トレーニング。
日頃から体を動かす習慣を身につけるように支援。
- (2) 自分の目標（めざす私の姿）を設定してもらい、その目標が達成できるように支援。
- (3) リハビリ専門職が心身の状態、目標に合わせた自宅でできる運動の指導。



豊後大野市内の事業所

施設	特別養護老人ホーム	3施設	265床
	介護老人保健施設	6施設	338床
	介護療養型医療施設	1施設	12床
		計	615床
●	地域密着認知症グループホーム	12施設	141床
●	地域密着小規模多機能	2施設	
●	有料老人ホーム	14施設	400床
			(介護型1施設28床含)

居宅介護サービス

- 居宅介護支援 24事業所
- 訪問介護 22事業所
- 訪問看護 17事業所(ステーション2)
- 訪問リハビリ 11事業所
- 通所介護 21事業所
- 通所リハビリ 11事業所

特定施設(養護老人ホーム) 2施設 120床

養護老人ホーム常楽荘



13



地域の子供たちなどによる獅子舞



地域の中学生とのふれあい

14

今までの事例

- ・親を心配して子どもが措置を申請
- ・高齢者世帯で妻が入院、生活が成り立たなくなり夫は施設へ
※退院しても妻はすぐに体調が戻らない。
- ・中山間で暮らす高齢者世帯。低所得なため最低限の生活買い物等に困っている。

など

緊急措置入所者22名(平成21年～25年度)

入所理由	緊急入所後の行く末
<ul style="list-style-type: none">・ 虐待(9名)・ 社会的不適応(7名)・ 介護者の急な不在(2名)・ 火事等災害(4名)	<ul style="list-style-type: none">・ 自宅復帰(7名)・ 新居への移転(1名)・ 養護老人ホーム 継続入所(14名)

15

第2の在宅を創ろう！



①既存の建物、設備を活用して住宅環境の提供を行う

(一時的保護、継続的賃貸住宅として)

②生活支援の提供

(食事、健康管理、安否確認)

③専門家への情報提供と連携

(医療機関、地域包括支援センター等)



④家族との調整



16

空き家を活用した定住施策

空き家増加による課題

- ◆治安の低下
- ◆犯罪の発生(放火の危険性等)
- ◆雑草繁茂や不法投棄の誘発による公衆衛生の低下
- ◆景観の悪化

地域イメージの低下



◆空き家成約奨励金

- ・契約が成立 10万円
- 空き家の提供者に対し奨励金を交付
⇒空き家バンクの登録推進
- 家財処分費及び相続登記費用等の補てん
- ◆**空き家改修事業補助金**
- ・1/2 補助 上限
- 購入 小規模集落 100万円 その他 80万円
- 賃貸 小規模集落 50万円 その他 40万円
- 市内建設業者にて施工
- 市外からの転入者が対象
(市研修制度終了後は、2年以内)
- 空き家バンク登録物件 ⇒空き家バンクの登録推進
- 自治会に加入

・現在の空き家関係施策

○空き家バンク事業(H24.2～)

H26.7.9 現在

- 物件登録数 37件
(うち抹消、成約除く現登録14件)
- 利用登録者数 114件
- 成約数 24件 59名(うち市外者27名)
- H26年度 成約6件中うち市外者5件

課題

- 空き家バンク利用希望に対し物件登録数が少ない。
- 空き家の改修に経費がかかるため入居を躊躇。

豊後大野市の課題

- 周辺部での地域コミュニティの崩壊
(地域の祭りの消滅、共同作業継続が困難)
- 後継者不足
- 周辺部での小学校の統合
- 地域建設(建築)業関係の衰退(大工、左官、資材店)
- 空き家の増加

17

豊後大野市低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業のめざすもの

低所得なため、有料老人ホーム等に入れず自宅に閉じこもっている

入退院で医療終了。1人では不安。

高齢者世帯。2人で頑張ってきたが1人が入院し生活が成り立たなくなる。

家族関係の崩壊 居づらい。

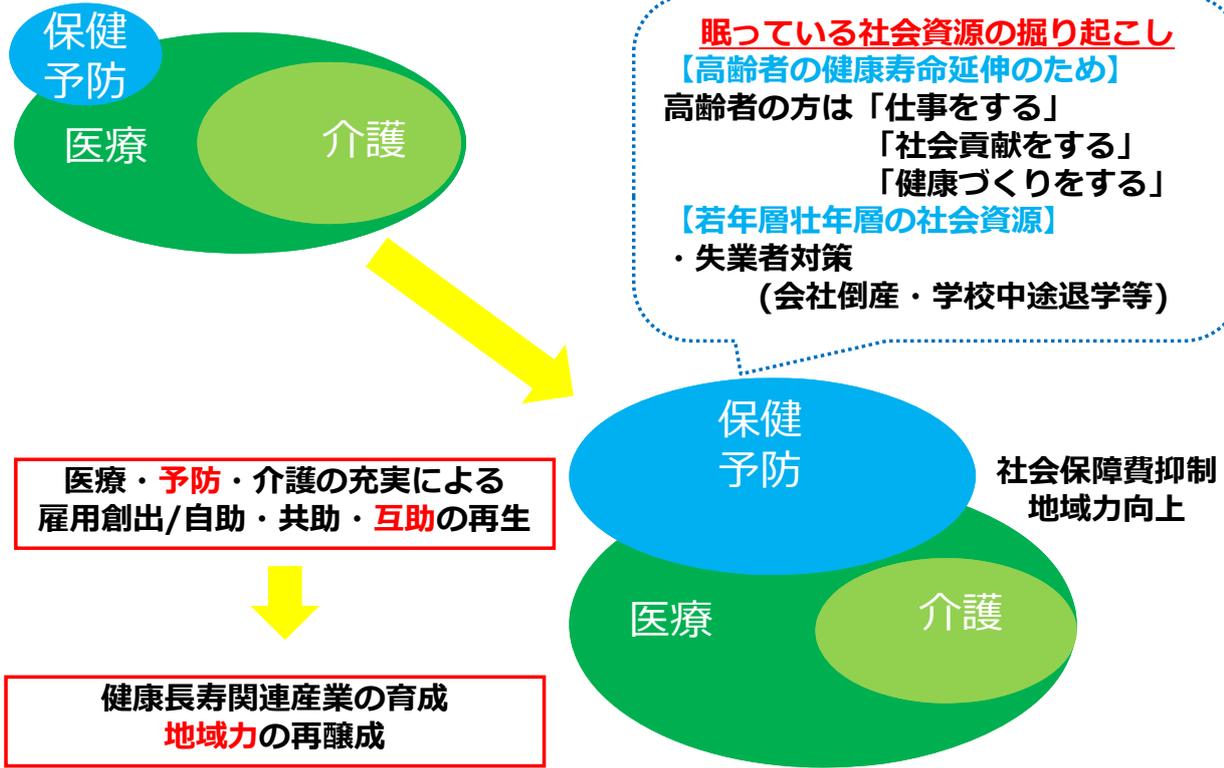
①中、短期的な居場所。
いずれ在宅及び施設への調整を行う。
(精神ケア、外部サービス調整など)

②本人および家族への調整を行う。
※問題の抽出→解決に向けた支援

③地域の憩いの場所へ
※地域の中での見守り!

18

新しい地域力



おおいた豊後大野ジオパーク

